



むらさき会だより

No.4

平成12年9月1日

山村学園むらさき会

貞淑 愛敬 質実



創立者
山村ぬみよ先生

昭和33年4月29日
藍綬褒章受章
昭和48年4月29日
勲四等宝冠章受章

ぬみよ先生

むらさき会会長

田中 久子

山村学園の出発点は川越の小仙波。私達の会で建てさせて頂いた碑があります。そこには厳しくて優しく、私達生徒と、いつも一緒に、導いてくださった先生を慕う卒業生の心が籠められています。校訓三つは学園の背骨であり、それを女性の理想として二十歳の時から亡くなられる日まで追求し続けられました。私たち同窓会員はぬみよ先生のご遺徳を偲ぶとともに学園の発展を心から望むものです。

信念の女性

山根先生

私は今もぬみよ先生はお説教よりは態度で訓えられた方、そばにいと、信念、情熱が伝わってくる感じの方、踵を踏む生徒の上履を、直して手渡すお姿を覚えています。いかげんなことができない方でした。教育一筋、立派な目標と情熱で学園をうち建てられた先生でした。

(山根先生はご退職後は小川町で活躍されています)

奥村 雅代さん

私は戦争中に東京から川越市鴨田、埼玉医大近くに疎開で移りました。母の実家がありましたから。忘れられないのはぬみよ先生です。きびしく女性性の優しさを備えて、今日この総会の席にいないのがさびしい。私だけではありませんよ。みなさんの胸に強く残されて、いつまでも消えない先生ですね。



お久しぶりね。
お元気ね。よくきたね。
卒業してはじめてかしら。
先生はお若い。
会えて良かった。
岩手県から来た白根さんだつてね。
今日帰るんですの。
学校もすつかり綺麗になって。でもぬみよ先生がおいでにならない。淋しいような。でも、私達は先生の教えを守って、しっかりと生きて参ります。来年も、再来年も、参りましょう。それが先生方へのご恩返しよ。

来年のむらさき会総会は
五月二十日(日)十一時開会です

会場 川越プリンスホテル

本気だったぬみよ先生

鳥津先生

女性の優しさ強さを併せもち、校内巡視もきめ細かく、生徒にも私達にも本気で接して下さった方でした。何か大きく遠い目標があり、ご自分がそれに向って一心に歩いておられたように私は感じてい

皆さん、何十年ぶり？

昔 廣沢(今平本)さん
昔 関根(今細田)さん

私たち初めて同窓会に参りました。電話やお手紙で誘ってね。お互いに会いたいってね。来てよかったね。

国田先生とは今日初めてよ。小川先生が記憶にあります。国田先生、いつごろから山村学園へ来られたんですか。城南中学校の校長先生でしたか。同窓会の会長さんは田中先生なんですね。前は福田先生とお呼びしていたんですよ。伊藤先生福島先生三人揃ってお元気で安心しました。今日は解散してから、同期ばかりでね、もう一度おしゃべり会よ。こんなに楽しい日って珍しいんです。昔のお友達はみんな元氣。先生はもっとお元氣でね。

ました。教師にも生徒達にも「それ〴〵の目標に向って進みなさいよ」と話され思いつけながら亡くなられたことと

思います。「教える人は、先ず自分を正せ、目標を持って」と訓えられ、それが教師の姿であると、身を以て論された先生でした。

出丸から 中里 正枝さん

私、初めての同窓会出席です。むらさき会っていうんですね。素敵な名前ですよ。

出丸の出身なんです。川越とは川一つ北の所です。山村は女子の躰の学校だからと皆にすめられて出丸から通いました。今は川島町出丸と呼んで、水田地帯です。

井上すみ子先生はお元氣でしょうか。ほんとうにお世話になりながら、おめにかゝる機会もなく――。

古田先生にもお目にかかりたいし――。今、私は元氣で、歩くことも平氣、丈夫です。家の中も朗らか円満!! 来年も出席したい。

むらさき会のお話

副会長

伊藤 勲子
福島ミヤ子
野島 康子

山村学園は開校八十年、県下有数の私学として、ぬみよ先生が指標とされた「貞淑、愛敬、質実」を教育の中でどのように具現化しようと努力なさり、今日に至っています。少子化の社会になれば、なおのこと良い躰、強い正義感と健康を目標にする愛のこもる教育は望まれます。大正の頃から現在、将来を展望されたぬみよ先生は本当に偉大です。

山村国際高校を訪問して

編集委員

「私学は経費がかかる。それでも入学させたい。」といわれるような掲示物があつた。

◎青少年育成のつどい作文発表会で最優秀賞並びに佳作に二人の入賞、地味な教育への取り組みがうかがわれる。

◎毛筆書道展、フアツションデザイン専門学校コンクールに三人の入賞者。どちらも伝統とも云える分

同窓会をむらさき会としたのは校章の藤の花、見事に咲いて驕らない下り藤、その色は昔から高貴な色と称されている紫。先年の総会で決定になって、むらさき会と公称しています。また会報発行を九月一日にしたのは、ぬみよ先生のお誕生日に併せ、学園の発展を期待する同窓生の心をよせたものです。

野に磨きがかけられての好成績。指導者に私学のあり方がよく理解され、努力の程がしのばれる。学園創立のぬみよ先生の教育理念を具現化しようとする熱意がみえるように思われる。

今、パソコン勉強中

木村 敦子さん

卒業して二年目です。商業科を目標に入学し卒業と同時に就職。販売という仕事なので今やパソコンの猛勉強です。就職試験は無事パスでした。

が後できいたら合格者は三割。入社テストの前の面接練習や巾の広い常識問題のプリント勉強など先生の励ましのお



いらっしゃいませ むらさき会でございます

言葉などが力をつけてくれたと思います。通勤は約六十分、新狭山駅から所沢へ、のりかえて西武新宿線。まあ楽ですね。でも遅番の時は駅まで迎えに来てもらいます。暗い夜道で後をつけられたりする話も聞いていますから。遅番の夜は十時ごろになりますから。面白いのは、東京で雷が鳴り大雨なのに、帰ってきたら雨なんか降ってこないんですよ。商業科十三組、清田先生には三年間お世話に。良い先生です。仕事、友達、同期生、みんなよかったです。清田先生有難うございます。

山村学園 同窓会

川越

むらさき会総会は

プリンスホテル

平成13年5月20日(日)

看護学校で勉強中の私

真坂 蘭美さん

私は坂戸の国際高校を卒業しました。入学してすぐに管弦楽同好会に入りましたが会員は四人。三年間続けて卒業と同時にその同好会もなくなりました。清水先生にはお世話になってしまいました。それで看護学校に受験し今や資格取得に向い一心に勉強しているところですが、ここでは三年間勉強し、難しいと言われる合格を目標をおいて勉強しています。

国立埼玉病院附属看護学校で基礎的な学習をした後国家試験を受けます。

この学校は和光市にあり、家から電車通学です。今の私は患者さんや同僚との交渉も含め、ひたすら勉強中というところですが。

私は天野先生に相談して細かく教えられ進路をきめました。現代文、数学、生物、英語を中心にしましたが、進路の決定はやっぱり自分でした。願書も見学も高三の夏休みにしました。同窓会の総会が五月ということですが、いそがしくなりそうです。クラスの方とは電話しますが。

今と思い出

山田 禮子さん

国田先生、私、山田でございませう。先生のお話、よく出るんですよ。先日母が小川医院で先生とお話したって申しておりました。京子も御本を頂いたり京子からも詩集をお贈りしたり。城南中学時代から親子二代のおつきあひ。帰ったら母と京子に話しましょう。

今日のむらさき会、とつても良かった。来年も皆さんと一緒に参りましょう。

私は吾野から通学

内沼 孝子さん

昔のことでね。山村学園は羨がましいし、将来を考えればということ、吾野から通学しましたね。家から学校まで片道二時間。往復なら四時間。南川とか子の権現とかいう所があるでしょう。あの方から、歩いたり電車を乗りついでりしてですよ。私は姉と二人山村卒業なんです。

むらさき会総会は

平成13年5月20日(日)

プリンスホテル

11時開会



さそいあってプリンスホテルへ むらさき会総会へ

私は美容師になりたくて勉強をしました。専門学校を受験したのですが、競争率は三倍。一般学科試験と常識問題でした。でも合格して毎日忙しく、きびしい勉強をがんばっています。

毎日が、忙しい楽しいの連続。就職先をさがすのも自分です。学校からの紹介を元に自力で歩きます。不思議に自分が鍛えられていく感じ。

家を出るのが七時、帰るのが十七時ぐらい。その他に練習があり、十五時から十八時までは課外授業があり、片端から挑戦しても疲れません。

在学中には厳しいなど考えた日もありましたが、卒業してみたら、それがよかったです。楽しい毎日です。

顧問 国田 正雄

女性の同窓会に私が一人籍を置く。これには訳がある。

私が六十一歳で学園の一人になった年にぬみよ先生から同窓会顧問を命ぜられ、翌月に近藤和一先生の病床に伺った時に「俺の後を頼む、顧問だよ」と云われた。お二人とも

ご病気で亡くなられ、私はその言いつけ通り続けています。近藤先生は仇名がライオン。小学生の時の恩師の一人です。

厳しい訓え

高橋 清夏さん

一昨年のむらさき会の総会のときにステージで踊ったチームの一人です。楽しくて忘れられません。いい総会でした。

理想の女性像を

追求されて

山口先生

ぬみよ先生は優しさと強さを秘めた方。私達にも生徒にも本気で接して下さった方。理想の女性像を追求され、強い感化力、善い悪いを判然示された方でした。小さい塾の

出発から県下有数の学園にまで創られました。ご努力、信念はご立派、さすがにぬみよ先生でした。きついお叱言で泣いたこともあった私。その先生はもういません。でも、あの調えは忘れません。ダメ、ヨシの判然とした学園を遺そうと努力の連続でしたのに。

一本筋が 柚木先生
ぬみよ先生は学園経営即女子教育に生甲斐を求め全力を注がれた方。校長だからと威ばっている方ではなかった。自分の生徒として愛され、一本筋が通っていた先生でした。学園内のゴミ拾いなどはごく自然になさったし、廊下を歩きながら教室を見るのも自然に静かだ。私に行きと、かないことがあった時などは、素直に受けとれる優しさが秘められ、厳しかったが優しい先生でした。

浄土ヶ浜から

白根 和子さん

私は川島町出丸の生まれです。姉二人が山村学園に学び、厳しい躰と聞いていたが、入学してみれば、普通の教えを守ればいいので楽しい毎日でした。卒業して三十九年も経つのに思い出の中心はぬみよ先生。

私は看護婦に憧れて看護学校を受験。遊ぶ時間もない充実の毎日。そのおかげで試験に合格。五十六歳になる今、岩手県宮古の病院勤務。お医者、患者さんの間を走りまわり、張りのある毎日です。今日は皆と茶話会、終ると宮古に帰ります。眺めの良い浄土ヶ浜なんです。直通バスにゆられながら総会のことや三人の恩師のこと、ぬみよ先生のことを思い出します。七時間で宮古につくのです。皆さんがぬみよ先生がいなくて淋しいって言うんです。優しく厳しく、生徒の言うこともよく聞いて下さったのに。いい先生でしたね。来年も参りますから――。

往復葉書で

豊泉 清子さん

私はお友達達の住所を往復葉書で確かめ連絡しました。その中の十五人が出席しました。初めての出席で不安もありましたが、岩手からの友もあり嬉しさいっぱい。担任だった福島、伊藤、田中先生とお話も出来たし。十八人出席予定でしたが三人は都合悪く欠席、残念。今日は解散後ユーランドに行く予定です。同期生だけでもう一度よ。楽しさ二倍かな三倍かしらね。楽しい日でしたね。来年もまた会いましょう。

子どもと共に

村松先生

ぬみよ先生は毎週金曜日に坂戸に來られ、早朝から夕方まで休みなく校地校舎を歩いて廻られました。いつも背筋がピンとされ、きびしさを秘めた優しさが感じられたものです。共学に変わったばかりで男子生徒も十八人ですが、「子供と共に」を教育の出発点として、お考えになられたぬみよ先生のつきつめたお考えが、ここで生きてくるように思われます。体育館の生徒のうごき、玄関の諸掲示に期待のもてる業績がわかりました。

委嘱状について

あなたにむらさき会の委員を委嘱いたします
委任
1. クラス連絡
2. 総会の出席
平成 年 月 日
山村学園 むらさき会
会長 田中久子

山村女子高のロビーで

先生方と

「授業態度はよくなり、無自覚の生徒や服装の悪いのもいますね、少数ですが。真似る、皆がしているからというのか。多勢の中には、独りっ子型の生徒もいて本校入学前の問題もあるように思えるし。」
「進学者は九十%以上、就職希望も八%前後、みんな本気でです。どこまでやれるか、自分の可能性追求に本気ですね。」
「これは平成十一年度卒業生の進学表です。」
◎一般受験合格者 九五人
◎推せん合格者 五四人
「本校入学以前に、山村に入学したら本気に、入学してから考え深く進路を考える生徒もあるだろうし、三年という時間は短いし、さあこれからだと考える生徒もいるだろうし、はじめから就職目標の生徒もいるし、なかなか大変ですよ。」

同窓会から委嘱状を受領した方は総会当日の諸準備や受付等にご協力をお願いします。会の発展振興をはかる目的で企画実施したもので、若い皆さんの結集を期待します。むらさき会 役員一同

平成十二年度 役員一覧

- 会長 田中 久子
副会長 伊藤 勲子
右同 野島 康子
右同 福島ミヤ子
顧問 国田 正雄

むらさき会の連絡は私たちへ

0492 81-0221	0492 25-3565
菅原きよみ 加藤 充代 新村 聖子	星野 節子 小林 豊子 三角 百合子 富田 佳子 柳沢 由紀

ぬみよ先生創立の母校の良き思い出優れた調えが永く在り続け比類のない学園に発展されることを願いながら第4号をお届けします。来年の総会でお目にかかれるのを楽しみに。

- 編集委員 福島ミヤ子
江島 照恵
国田 正雄

